

# 腹痛



お子さんの次の症状を観察し、医療機関受診の参考にしてください。

- 強いおなかの痛みが急にきた、又はずっと続いている
- がまんできない痛みがある
- おなかをさわると痛がる
- おなかが硬く張っている
- 吐いたものに血や、コーヒーの残りカスのようなものが混じっている
- うんちに血液が混じっている
- 足の付け根または下腹部が膨らみ、痛がる
- 発熱(38℃以上)がある
- 痛みがだんだんひどくなっている

1つ以上あてはまる

あてはまる症状はない

かかりつけの小児科  
休日・夜間は休日夜間診療所  
又は救急医療機関を受診しましょう

しばらく家で様子を見てみましょう  
ただし、症状が悪化した場合、変わらず続く場合は医療機関を受診しましょう

## 「おなかが痛い」というときは

発熱していないか、吐き気がないか、下痢をしていないか、おなかを抱え込むように痛がらないか、激しい泣き方をしていないか、などに注意しましょう。それから、おなかが張っていないか、全体的にさわってみましょう。指を少し立てぎみにして柔らかく押しながら移動させ、一定の場所に痛みを訴えるかどうか、みてください。



## 便秘?それとも...

おなかをさわってみて、左上から下の方を痛がる時は、便秘のこともあります。右下の方を痛がる時は、虫垂炎(いわゆる盲腸)などの場合もありますので、発熱、吐き気、激しい泣き方など他の症状があるか観察してください。だんだん痛みが強くなるようなときは、診察を受けましょう。

## うんちは出ていますか?

排便で治ることもありますので、トイレに行かせてみましょう。トイレに行っても出なかったり、固くてコロコロとしたうんちではありませんか。毎日排便していても、便秘になっていることもあります。他に症状がない場合は、浣腸が有効な場合もあります。うんちやおしっこが出たら、血が混じっていないか、いつもと比べて変わったところはないか、確認してください。

## 痛みが治ったら

簡単に痛みが治まるようなら、少し水分を取りましょう。吐き気やおなかの痛みがあるときは、オレンジなどの柑橘系のものや、牛乳類は避けましょう。吐き気を誘発したり、おなかの痛みがひどくなることもあります。

